

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公開番号】特開 2016-195874 (P2016-195874A)

【公開日】平成 28 年 11 月 24 日 (2016.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2016-065

【出願番号】特願 2016-163099 (P2016-163099)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 B

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 20 日 (2017.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

回路基板を収納する第 1 部材及び第 2 部材からなる基板ケースと、

前記第 1 部材と前記第 2 部材とを封止状態とする封印シールと、

前記第 1 部材に設けられた第 1 封印シール貼付部と、

前記第 2 部材に設けられた第 2 封印シール貼付部と、

を備え、

前記封印シールは、

該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに該溶剤が使用された痕跡を残す溶剤使用特定部と、

該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに発色する溶剤発色部と、

該封印シールの識別情報が符号化されることにより所定の読取装置にて読み取り可能な識別情報表示部と、

を有し、

前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部とに跨るように貼付されたときに前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部との境界部に位置しない部分に前記溶剤使用特定部が配置され、

前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部とに跨るように貼付されたときに前記第 1 封印シール貼付部または前記第 2 封印シール貼付部のいずれかに対応する部分に前記溶剤発色部と前記識別情報表示部とが配置され、

前記識別情報表示部は、前記所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消えないものであり、

前記溶剤発色部は、該溶剤発色部の経時変化により発色する色とは異なる色に発色し、

前記溶剤使用特定部は、第 1 溶剤が用いられたときに該第 1 溶剤が使用された痕跡を残す第 1 溶剤使用特定部と、前記第 1 溶剤とは種類が異なる第 2 溶剤が用いられたときに該

第 2 溶剤が使用された痕跡を残す第 2 溶剤使用特定部と、を含むことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技を行うことが可能な遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、この種の回路基板を、ベース体（第 1 部材）とカバー体（第 2 部材）とからなる基板ケースに収納するとともに、封印シールを貼付することにより開封された場合にはその痕跡が残るように封止状態とすることで、回路基板に不正行為が行われた可能性があることを容易に発見することができるようにしたものがある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、
遊技を行うことが可能な遊技機であって、

回路基板を収納する第 1 部材及び第 2 部材からなる基板ケースと、

前記第 1 部材と前記第 2 部材とを封止状態とする封印シールと、

前記第 1 部材に設けられた第 1 封印シール貼付部と、

前記第 2 部材に設けられた第 2 封印シール貼付部と、

を備え、

前記封印シールは、

該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに該溶剤が使用された痕跡を残す溶剤使用特定部と、

該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに発色する溶剤発色部と、

該封印シールの識別情報が符号化されることにより所定の読取装置にて読み取り可能な識別情報表示部と、

を有し、

前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部とに跨るように貼付されたときに前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部との境界部に位置しない部分に前記溶剤使用特定部が配置され、

前記第 1 封印シール貼付部と前記第 2 封印シール貼付部とに跨るように貼付されたときに前記第 1 封印シール貼付部または前記第 2 封印シール貼付部のいずれかに対応する部分に前記溶剤発色部と前記識別情報表示部とが配置され、

前記識別情報表示部は、前記所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消えないものであり、

前記溶剤発色部は、該溶剤発色部の経時変化により発色する色とは異なる色に発色し、

前記溶剤使用特定部は、第 1 溶剤が用いられたときに該第 1 溶剤が使用された痕跡を残

す第 1 溶剤使用特定部と、前記第 1 溶剤とは種類が異なる第 2 溶剤が用いられたときに該第 2 溶剤が使用された痕跡を残す第 2 溶剤使用特定部と、を含むことを特徴としている。